

令和 7 年度使用中学校用教科用図書

採択地区協議会 議 事 録

教科用図書宮崎採択地区協議会

宮崎採択地区協議会

1 会議が開催された日時及び場所

○ 第1回宮崎採択地区協議会

日 時：令和6年5月29日（水）13:30～16:00

場 所：清武総合支所 2A 会議室

○ 第2回宮崎採択地区協議会

日 時：令和6年7月 9日（火） 8:40～17:10

場 所：清武総合支所 教育委員会室

2 会議に出席した委員の氏名

《委 員》

所 属	職 名	氏 名
宮崎市教育委員会	教育長	黒 木 貴
	代表教育委員	松 尾 和 彦
国富町教育委員会	教育長	荒 木 幸 一
	教育委員	日 高 ま り 子
綾町教育委員会	教育長	岩 切 康 郎
	教育委員	山 口 昇
保護者代表	宮崎市保護者代表	二 見 志 信
	国富町保護者代表	宮 永 裕 之
	綾 町保護者代表	角 谷 伸 之

《事務局》宮崎市教育委員会

事務局長	学校教育課 課長	小 川 充
書 記	学校教育課 課長補佐兼教育指導係長	西 川 元
庶 務	学校教育課 指導主事	川 越 秀 樹
会 計	学校教育課 主任主事	黒 木 聡 仁

3 会議の議事の経過及びその結果の要旨 別 紙

4 議事録の作成に係る職務を行った者の氏名

宮崎市教育委員会学校教育課 課長補佐兼教育指導係長 西川 元

会 長 : 黒 木 貴

副会長 : 荒 木 幸 一



第Ⅰ回採択地区協議会 議事録

【 協 議 】

令和6年5月29日(水)

発言者	発言内容
事務局	【本協議会の概要】について ○ 委員及び事務局紹介 ○ 教科用図書採択事務の流れ説明
事務局長	【役員選出】について 会 長：黒木 貴 宮崎市教育長 副会長：荒木 幸一 国富町教育長 監 事：岩切 康郎 綾町教育長 松尾 和彦 宮崎市代表教育委員
会長	【事務局長、書記の任命】について 事務局長：小川 充 宮崎市学校教育課長 書 記：西川 元 宮崎市学校教育課長補佐
事務局長	【規約】について 提案どおり
事務局長	【専門委員の委嘱】について 提案どおり
事務局長	【予算案】について 提案どおり
事務局長	【今後の計画】について 提案どおり
事務局長	【本年度の採択】について 提案どおり
事務局長	【採択の基準及び調査研究の観点】について 提案どおり
事務局長	【情報公開の考え方】について 提案どおり
事務局長	【その他】 負担金については、今後、正式な依頼文を送付する。
事務局	【採択地区協議会委員による教科書閲覧】 ○ 編修趣意書について説明 ○ 閲覧・質疑

第2回採択地区協議会 議事録

【 協 議 】

令和6年7月9日(火)

発言者	発言内容
事務局長	【調査研究経過説明】について 5月29日に開催した第1回宮崎採択地区協議会を受け、中学校用教科用図書の調査研究のための第1回専門委員会を6月4日に行った。専門委員の先生方に委嘱状を交付し、調査研究を開始した。第2回を6月24日、第3回を7月4日に行い、専門的な見地からそれぞれの教科書について研究していただいた。 教科書調査研究、採択の基準・観点については、資料にあるとおりである。採択の基準に基づいて、それぞれの観点ごとに、各教科書の特徴をまとめていただいた。 なお、文部科学省からの通知にもあるとおり、「教科書採択は紙の教科書を決定する行為であり、調査・検討の対象は紙の教科書であることが基本」となっている。二次元コードを活用したデジタル教材についての報告があるかと思うが、一つの参考として捉えていただきたい。 この後、調査・研究の結果について、各教科部長から報告を行っていただく。報告は、三つの項目にまとめてポイントを説明していただく。その報告を受け、質疑・協議のうえ、最終的に各種目一者の選定をお願いしたい。
事務局	会長は所用のため、中座する。教科用図書宮崎採択地区協議会規約の第7条第2項のとおり、副会長は会長を補佐し、会長が欠けたときは、その職務を代理することとなる。したがって、副会長に、会長代理を務めていただく。
副会長	【質疑】について これから部長から調査結果について説明をしていただくが、その後、質疑の時間がある。本地区にふさわしい教科書を採択するには、本地区の生徒の実態を踏まえ、それに基づいて検討していくことが重要であると考え。そこで、これから申し上げる二つの質疑については、全ての教科で最初にうかがおうと考えている。 一つめに、「本地区の生徒の実態を考えると、その教科でどのような工夫がされている教科書がふさわしいか。」である。 二つめに、「本地区の実態を考慮した場合、各発行者どんな特色が見られたか。」である。 全教科、全種目共通の質疑とさせていただきます。
副会長	【選定方法】について 教科用図書宮崎採択地区協議会規約の第9条第6項にあるとおり、過半数、5票以上の投票を得た教科書が選定される。 過半数の投票を得た教科書がない場合には、第7項にあるとおり上位2種類の教科書について投票を行い、多数を得た教科書が選定される。その際、上位2種類の教科

副会長	書が定まらない場合には、２種類を定める予備投票の方法について協議の上、予備投票を行い、２種類を決定する。 ２種類の投票において、得票数が同じ場合には、第８項にあるとおり、協議の経過を勘案し、会長、または副会長の方でこれを決することになる。 これから各教科、各種目の報告に入る。
-----	---

発言者	発言内容
副会長	国語について、部長に説明を求める。
部長	（部長説明）
委員	【質疑応答】 本地区の生徒の実態を考えると、国語科では、どのような工夫がされている教科書がふさわしいか。
部長	本採択地区の生徒の実態を見ると、漢字の読み書きについては、基本的な能力を身に付けており、目的に応じた使い分けができている。また、古文や詩の音読、暗唱に意欲的に取り組んでいる。自分の考えをペアや小集団での話し合いを通して、積極的に伝えることができるよさがある。 一方、長文の読解、文章や資料等からの正確な情報の把握と論理的に思考して課題を解決することや、他者との交流を通して、自分の考えを深めたり、説得力のある文章を書いたりする際に必要とされる豊かな語彙力と根拠や具体例を用いた表現力に課題がある。 このため、本地区の生徒の実態を踏まえると、生徒の活発な言語活動につながるような教材を取り上げるとともに、どのような力を身に付けたいかを実感できるような教材の構成・配列が必要である。また、資料の紹介や読書活動の誘い等により生徒が多様な文章や表現に触れ、主体的な言語活動を営もうとする意欲を培う工夫が見られる教科書がふさわしいと考える。
委員	本地区の実態を考慮した場合、各発行者にどのような特色が見られるか。
部長	本地区の地域の特色や生徒の実態から各発行者の特色を見たとき、「東京書籍」では、「学びを支える言葉の力」の中で、情報と論理の学びについて具体的に示すことで、根拠や具体例を用いた表現力を育成することができるという工夫が見られる。 「三省堂」では、学習用語辞典のページを収録し、国語の学習活動に役立つ用語をまとめて提示することで、説得力のある文章を書く際に必要とされる豊かな語彙力を身に付けることができる工夫が見られる。 「教育出版」では、読むことの領域における「学びナビ」で、文章の読み方の視点を示すことで、長文の読解や文章及び資料からの正確な情報を読み取るための力を身に付ける工夫が見られる。 「光村図書」では、「語彙ブック」において、描写や思考等の場面における適切な表現を示すことで、説得力のある文章を書く際に必要とされる豊かな語彙力を身に付けることができる工夫が見られる。

委員	現行の学習指導要領改訂において新設された「情報の扱い方に関する事項」について、教科用図書ではどのように取り扱われているか。
部長	各発行者とも、急速な情報化が進む社会に対応する情報の扱い方を身に付け思考を育てることができるような工夫が見られる。
副会長	続いて、書写についての説明を求める。
部長	(部長説明)
委員	【質疑応答】 本地区の生徒の実態を考えると、書写では、どのような工夫がされている教科書がふさわしいか。
部長	本採択地区の生徒の実態を見ると、書写学習への意欲があり、地区内の毛筆書道展への出品も継続的に行われている。生徒は、教科書の手本をよく見て毛筆や硬筆の作品づくりに取り組むことができている。 しかし、習い事として書道の経験を積んでいる生徒と、学校の授業のみしか筆を握らないという生徒の技量に差が大きい。また、タブレット端末の使用頻度が増えている中、授業で学習した内容を日常生活の中で生かそうとする意識や技能が十分に身に付いていないという課題が見られる。 そこで、二次元コードを活用し、社会で役立つ知識や社会生活の中で使われる様々な書式をわかりやすく学ぶことのできる工夫が必要である。また、生徒の日常から題材を取り上げたり、国語の教科書と連動できる教材を設定したりするなど、学んだことが学校生活や日常生活に生かすことのできる工夫が見られる教科書がふさわしいと考える。
委員	本地区の実態を考慮した場合、各発行者どのような特色が見られるか。
部長	本地区の特色や生徒の実態から各発行者の特色を見たとき、「東京書籍」では、巻末の「書写活用ブック」において、二次元コードを活用し、お礼状や依頼文の書き方等、社会生活の中で使用される様々な書式を分かりやすく学ぶことができる工夫が見られる。 「三省堂」では、資料編において、送り状やのし袋の書き方などの資料がまとめられていたり、社会で役立つ知識や文字の歴史や文化への理解を深めたりするなどの工夫が見られる。 「教育出版」では、イラストを利用した「書写をとおして学んでいくこと」、巻末の「書式の教室」「書写で身に付けた力を学習活動で活用しよう」で具体的な活動を視覚的に表すなどの工夫が見られる。 「光村図書」では、各学年に国語の教科書と連動できる教材を設定したり、生徒の日常から題材を取り上げたりするなど、学んだことが学校生活や日常生活に生かすこ

	とのできる工夫が見られる。
委員	書写の教科書の中で、特色あるものはあるか。あればどのようなところか。
部長	各発行者ともに、教科書編修の特色を出している。今回の教科書研究で特に多かったところは、書写の学習で学んだ成果を、他の教科等や日常生活に生かしていくための様々な活動を提示している点である。 例えば、「理科のノートの取り方」「手紙や案内状を書く」「ポスターや新聞を書く」など、日常生活から社会生活に広がる教材が掲載されている。これらは、現行の学習指導要領の「社会生活における人との関わりの中で伝え合う力」を身に付けることに基づいている。
委員	学校を訪問すると、左利きの生徒が多いことに気付いた。左利きの生徒への対応は、どのようになっているか。
部長	どの発行者も、左利きの生徒に配慮した対応を行っている。 例えば、用具の置き方、二次元コードと連動した拡大図版等が記されている。 (部長退席)
副会長	【協議】 それでは協議に入る。 意見等がなければ、投票に入る。 (投票)
事務局長	「国語」の投票結果 東 書 0 票 三省堂 0 票 教 出 0 票 光 村 8 票 「書写」の投票結果 東 書 0 票 三省堂 1 票 教 出 0 票 光 村 7 票
副会長	投票の結果、国語、書写ともに、「光村図書」が採択された。

発言者	発言内容
会長	地理的分野について、部長に説明を求める。
部長	(部長説明)
委員	【質疑応答】 本地区の生徒の実態を考えると、地理的分野では、どのような工夫がされている教科書がふさわしいか。
部長	本地区の生徒の実態として、よさとしては山脈や川などの名称、国名や都道府県名、河川や産地など、基礎的な学習内容の定着率は高い方であり、作業的な学習にも意欲的な傾向がみられる。また、写真や動画などの視覚的教材には関心が高く、本県の農業をはじめ地域素材を積極的に活用しようとする意欲が高い傾向にある。 しかし、歴史的分野や公民的分野に比べると、やや苦手意識をもつ生徒が多い。また、統計資料や写真等の資料から、必要な情報を読み取ったり、関連付けて判断して思考したり、自分の言葉でまとめ表現することを苦手とする生徒が多い。 そこで、さまざまな地理的事象に対して、郷土の題材や豊富な資料等をもとに興味・関心を高めさせるとともに、学習課題を設定し、資料と関連付けながら考察し、適切に表現できる工夫がより多く見られる教科書がふさわしいと考える。
委員	本地区の実態を考慮した場合、各発行者でどのような特色が見られたか。
部長	本地区の願いや思い、生徒の実態から各発行者の特色を見たとき、郷土の題材や豊富な資料等をもとに興味・関心を高める工夫については、「東京書籍」では、促成栽培や肉牛の飼育について、写真やグラフを掲載するとともに、本文の記述がなされている。 「教育出版」では、写真やグラフでピーマンの促成栽培やみやぎ地頭鶏にふれ、施設園芸や畜産を中心に本県の農業について記述がなされている。 「帝国書院」では、畜産についてのグラフを掲載し、みやぎ地頭鶏のブランド化や促成栽培について本文の記述がなされている。 「日本文教出版」では、促成栽培や肉牛、豚、鶏などの畜産、焼畑農業について、写真やグラフを掲載するとともに、記述がなされている。 また、学習課題を設定し、資料と関連付けながら考察し、自分の言葉でまとめ適切に表現できる工夫については、「東京書籍」では、課題をつかむ、課題を追究する、課題を解決するという流れで各章が構成され、探究課題を解決していく学習活動ができるような工夫が見られる。さらに単元の終わりに「探究課題を解決しよう」が設定しており、地域のこれからを思考・判断・表現し課題を解決する力を高める学習活動ができるような工夫が見られる。

	「教育出版」では、導入ページ、本時ページ、学習のまとめと表現ページによって各章が構成され、見通しや振り返りの学習活動に取り組みやすくなるような工夫が見られる。さらに、特設ページ「クロスロード」が設定され、学習内容を活かして、生徒が地域の課題解決に向けて思考・判断・表現できるような工夫が見られる。 「帝国書院」では、単元の見通しのページ、毎時の学びのページ、単元の振り返りのページで各章が構成されており、単元を通した学習活動に取り組みやすくなるような工夫が見られる。また、「アクティブ地理」が設定され、地域の課題について考えていく学習を通して、思考力・表現力を高めるような工夫が見られる。 「日本文教出版」では、学習のはじめに、問いの設定、本文、まとめと振り返りのページで各章が構成されており、学習の見通しと振り返りがしやすくなっている。さらに、単元ごとに「自分の考えをまとめよう」が設定され、学習内容を整理し、地域の課題を思考・判断・表現することができるような工夫が見られる。
委員	日本固有の領土である北方領土について、各教科書は、どのように取り扱っているか。
部長	どの教科書にも記述が見られる。コラムや特集ページを設けている教科書もある。位置や地図を示した地図や写真を掲載するとともに、現在ロシアによって不法占拠されていることや、日本が粘り強く交渉を続けていることなどが記述されている。 「東京書籍」では、竹島・尖閣諸島とともに、見開き１ページ分を使用して取り上げている。日本固有の領土であることと、現在ロシアが不法に占拠しており、日本が抗議を続けている旨の記述がある。自然や地理に関する情報を中心とした記述である。また、歴史・公民的分野との関連ページを示す二次元コードが示されている。竹島・尖閣諸島とともに、写真と主題図が掲載されている。 「教育出版」では、竹島・尖閣諸島とともに、見開き１ページ分を使用して取り上げている。日本固有の領土であることと、現在ロシアが不法に占拠しており、日本が抗議を続けている旨の記述がある。また、現在に至るまでの経緯と、ビザなし交流についての記述や資料がある。 「帝国書院」では、竹島・尖閣諸島とともに、見開き１ページ分を使用して取り上げている。日本固有の領土であることと、現在ロシアが不法に占拠しており、日本が抗議を続けている旨の記述がある。現在に至るまでの経緯と、ビザなし交流についての記述や資料がある。 「日本文教出版」では、竹島・尖閣諸島とともに、見開き１ページ分を使用して取り上げている。日本固有の領土であることと、現在ロシアが不法に占拠しており、日本が抗議を続けている旨の記述がある。現在に至るまでの経緯についての記述や資料がある。
委員	宮崎県のことについて、地理の教科書では、各者どのように取り扱っているか。
部長	地理的分野では、畜産や促成栽培についての記述を中心に、本県についてすべての発行者が掲載している。

	「東京書籍」では、促成栽培や肉牛の飼育について、写真やグラフも掲載して詳しく記述している。また、新燃岳の噴火による農作物での降灰被害の写真が掲載されている。プロ野球チームのキャンプの様子の写真も掲載されている。 「教育出版」では、写真で「みやざき地頭鶏」や「高千穂峡」にふれるなどし、畜産や自然環境を中心に記述している。 「帝国書院」では、プロ野球のキャンプ地であることや、ビニールハウスを利用した促成栽培について、写真も掲載して、詳しく説明している。 「日本文教出版」では、肉牛・豚・にわたりの県別飼育数のグラフや写真、県北については焼畑農業、温暖な気候を生かした促成栽培について、写真やグラフとともに記述している。また、プロ野球のキャンプ地が地域に与える影響について触れ、節の問いを立てるヒントとしての記述がある。
会長	続いて、歴史的分野について説明を求める。
部長	(部長説明)
委員	【質疑応答】 本地区の生徒の実態を考えると、歴史的分野では、どのような工夫がされている教科書がふさわしいか。
部長	本地区の生徒の実態として、よさとしては、歴史上の人物やそれに関連する事象について調べることを好む生徒が多く、他分野よりも比較的関心が高い。また、郷土の偉人に関して深く理解している生徒が多い傾向にある。 しかし、これまでに習得した基礎的・基本的な知識を活用しながら、写真やグラフ、年表等のさまざまな資料に基づいて、歴史的な事象を多面的に考察したり、自分の言葉でまとめて表現したりすることが苦手な生徒が多い。 そこで、さまざまな歴史的な事象を資料と関連付けて考えさせる内容の構成や、資料を活用して考察・判断するとともに、適切に表現する能力を育てるための工夫がより多く見られる教科書がふさわしいと考える。
委員	本地区の実態を考慮した場合、各発行者でどのような特色が見られたか。
部長	本地区の願いや思い、生徒の実態から各発行者の特色を見たとき、さまざまな資料を活用して考察・判断するとともに、自分の言葉でまとめ適切に表現する能力を育てるための内容の構成上の工夫については、「東京書籍」では、「チェック＆トライ」マークや「見方・考え方」、「探求のステップ」「みんなでチャレンジ」のコーナー、各章の「まとめの活動」を設け、その時間や各章で学習する内容について視点をもとに考えたり、キーワード等を使って説明したり、話し合ったりすることにより、生徒の思考力・判断力・表現力を身に付けるための工夫が見られる。 「教育出版」では、「表現」マークや「歴史の窓」「歴史の技」等のコーナー、各章の「学習のまとめと表現」を設け、歴史的な事象についての説明や話し合い活動ができる

	ようにすることにより、生徒の思考力・判断力・表現力を身に付けるための工夫が見られる。 「帝国書院」では、「説明しよう」・「対話」マークや「技能をみがく」コーナー、コラム「歴史プラス」や各章の「学習をふりかえろう」を設け、「見方・考え方」を働かせることにつながるような説明や話し合い活動ができるようにすることにより、生徒の思考力・判断力・表現力を身に付けるための工夫が見られる。 「山川出版社」では、「ステップアップ」マークや各単元の「地域からのアプローチ」「歴史を考えよう」「歴史へのアプローチ」、各章のまとめを設けて、資料の読み取り方など歴史を学習する上で知っておきたいことや調べ学習の方法、現代社会とのつながりを学ぶことができる工夫が見られる。 「日本文教出版」では、本文中の「見方・考え方」「確認」「表現」の活動コーナーや、歴史コラム、特設の「チャレンジ歴史」「歴史を掘り下げる」、各章の「まとめとふり返し」などの配置により、見通しをもって調べたり、話し合い活動ができるようにすることにより、生徒の思考力・判断力・表現力を身に付けるための工夫が見られる。 「自由社」では、「もっと知りたい」や「人物クローズアップ」などのコラムで、生徒が興味のある歴史的事象を自らより深く学び考えられるような素材を随所に配置し、各章の章末で「時代の特徴を考えるページ」や生徒の探究を促す「調べ学習のページ」を設定するなど、生徒の思考力・判断力・表現力を身に付けるための工夫が見られる。 「育鵬社」では、コラム「歴史ビュー」「人物クローズアップ」、各章の終わりに特設ページ「歴史ズームイン」や「学習のまとめ」を設け、多彩な資料をとおして多面的・多角的に考察させ、生徒の思考力・判断力・表現力を身に付けるための工夫が見られる。 「令和書籍」では、調べ学習の手順や方法、ディベートの方法等、まとめ学習における対話が広がるような学習方法の紹介をするページを設け、各時代の章末においてまとめを行うコーナーで政治・文化・外交・産業の4つの観点でまとめさせるなど、生徒の思考力・判断力・表現力を身に付けるための工夫が見られる。
委員	竹島については、歴史上、各教科書はどのように取り扱っているか。
部長	北方領土、尖閣諸島と合わせて、すべての発行者が教科書で掲載している。位置を示した地図や写真を掲載するとともに、本文やコラム欄で、領土問題の概要や歴史的な経緯などについて解説している。 「東京書籍」は、北方領土・尖閣諸島とともに見開き4ページ分を使用して、明治時代に日本の領土になった経緯と現状を取り上げている。本文と、年表に1905年に竹島が日本領に編入された記述がある。 「教育出版」は、北方領土・尖閣諸島とともに、見開き2ページ分を使用して、日本の領土になった経緯と現状を取り上げている。本文と、年表、主題図に1905年に竹島が日本領に編入されたという記述がある。 「帝国書院」は、北方領土・尖閣諸島とともに、見開き1ページ分を使用して、日本の領土になった経緯と現状を取り上げている。本文と年表、主題図に、1905年

	に竹島が日本領に編入された記述がある。 「山川出版」は、北方領土・尖閣諸島とともに、見開き１ページ分を使用して、日本の領土になった経緯と現状を取り上げている。同じページに、外務省のホームページとリンクした二次元コードも示されている。 「日本文教出版」は、北方領土・尖閣諸島とともに、見開き１ページ分を使用して、日本の領土になった経緯と現状を取り上げている。本文と年表、主題図に１９０５年に竹島が日本領に編入された記述がある。 「自由社」は、尖閣諸島とともに、日本の領土に編入した経緯について記述している。李承晩ラインの説明とともに、竹島が日本の固有の領土であるという記述もある。また、韓国が不法に占拠している旨の記述がある。 「育鵬社」は、北方領土・尖閣諸島とともに、見開き１ページ分を使用して、日本の領土になった経緯と現状を取り上げている。本文と年表、主題図に１９０５年に竹島が日本領に編入された記述がある。 「令和書籍」は、韓国が日本固有の領土である竹島を不法に占拠しているが、国交を樹立したということを記述している。
委員	歴史の教科書には、宮崎県のことについて、各者どのように取り扱っているか。
部長	すべての発行者が、小村寿太郎や伊東マンショなど、宮崎県出身の人物を取り扱っている。神話との関連を記載した出版社も多い。 「東京書籍」では、「宮崎県と神話」について高千穂神楽の写真が掲載されている。また、「伊東マンショ」「小村寿太郎」「石井十次」について写真等を用いて、詳しく記述している。 「教育出版」では、「伊東マンショ」「小村寿太郎」について写真等を用いて、詳しく記述している。 「帝国出版」では、「小村寿太郎」について写真を掲載して詳しく記述している。 「日本文教出版」では、高千穂の夜神楽が写真とともに詳しく解説され、「小村寿太郎」については写真を掲載している。「石井十次」については、写真と解説文を掲載している。 「育鵬社」では、「伊東マンショ」「小村寿太郎」について絵や写真と文章を掲載している。 「山川出版社」でも、「伊東マンショ」「小村寿太郎」について絵や写真と文章を掲載している。 「自由社」では、「伊東マンショ」「小村寿太郎」について、写真を掲載して説明している。 「令和書籍」では、「小村寿太郎」について文章で説明している。
会長	続いて、公民的分野について説明を求める。
部長	(部長説明)

委員	【質疑応答】 本地区の生徒の実態を考えると、公民的分野では、どのような工夫がされている教科書がふさわしいか。
部長	本地区の生徒の実態として、よさとしては、社会で起きていているさまざまな問題に対する関心は比較的高い。また、基礎的・基本的な学習内容の定着率も比較的良好。 しかし、これまでに習得した基礎的・基本的な知識を活用しながら、写真やグラフ、年表等のさまざまな資料に基づいて、社会的な事象を多面的に考察したり、自分の言葉でまとめて表現したりすることが苦手な生徒が多い。 そこで、社会的な事象をより具体的な資料と関連付けながら考察し、適切に表現できる内容の構成や、社会の今日的な課題が自分の生活と結び付いていることに気付かせる工夫がより多く見られる教科書がふさわしいと考える。
委員	本地区の実態を考慮した場合、各発行者にどのような特色が見られるか。
部長	本地区の願いや思い、生徒の実態から各発行者の特色を見たとき、具体的な資料と関連付けながら考察し、適切に表現できる内容の構成や、社会の今日的な課題と生活との結びつきに気付かせる工夫として、「東京書籍」では、「チェック&トライ」マークや「見方・考え方」、「探求のステップ」「みんなでチャレンジ」のコーナー、各章の「まとめの活動」を設け、その時間や各章で学習する内容について視点をもとに考えたり、説明したり、話し合ったりすることにより、生徒の思考力・判断力・表現力を身に付けるための工夫が見られる。 「教育出版」では、「表現」マークや「公民の窓」「公民の技」等のコーナー、各章の「学習のまとめと表現」を設け、公民的事象についての説明や話し合い活動ができるようにすることにより、生徒の思考力・判断力・表現力を身に付けるための工夫が見られる。 「帝国書院」では、「説明しよう」・「〈学習の前に〉を振り返る」マークや「技能をみがく」コーナー、コラム「公民プラス」や各章の「学習をふりかえろう」を設け、「見方・考え方」を働かせることにつながるような説明や話し合い活動ができるようにすることにより、生徒の思考力・判断力・表現力を身に付けるための工夫が見られる。 「日本文教出版」では、本文中の「見方・考え方」「確認」「表現」の活動コーナーや、コラム「アクティビティ」「公民＋α」、特設の「明日に向かって」、各章の「まとめとふり返し」などの配置により、見通しをもって調べたり、話し合い活動ができるようにしたりすることにより、生徒の思考力・判断力・表現力を身に付けるための工夫が見られる。 「自由社」では、本文中の「やってみよう」マーク、コラム「ミニ知識」、特設の「もっと知りたい」、各章の「学習のまとめと発展」を設け、多彩な資料をとおして多面的・多角的考察、公正な判断や表現力を養う工夫が見られる。 「育鵬社」では、本文中の「資料活用」、コラム「学習を深めよう」「やってみよう」、特設の「学習を深めよう」「やってみよう」、各章の「学習のまとめ」を設け、多彩な資料をとおして多面的・多角的考察、公正な判断や表現力を養う工夫が見られる。

委員	最新の国際紛争、例えばロシアによるウクライナ侵攻等は、各者どのように取り扱っているか。
部長	ほとんどの教科書において、本文で触れたり、特設コーナーを設けて記述したりしている。 「東京書籍」では、資料「ロシアによるウクライナ侵攻に抗議する人々」や、ウクライナに国境なき医師団の活動で参加した方の内容を掲載している。また、ロシアによるウクライナ侵攻で、多くの人々が国外に避難していることを記述している。巻末の「現代社会のあゆみ」においては、「2022 ロシアのウクライナ侵攻」を掲載している。 「教育出版」では、「日本の安全保障と平和主義のこれから」において、資料「自衛隊の海外での主な活動」を、「核なき世界の実現へ」において、資料「小型爆弾を搭載したドローン」を掲載している。また、ロシアによる軍事行動移行、ウクライナでも多くの難民や国内避難民が生じているという記述がある。「なくてはならない食料と水」において、ロシアとウクライナからの小麦の輸出が減り、価格高騰など世界中に影響が及んでいるという説明もある。 「帝国書院」では、「領土をめぐる取り組み」において、2020年のロシアによるウクライナ侵攻を受けて、日本はロシアに対して厳しい制裁を行い、ロシアは日本との北方領土の交渉を中断すると表明したことを記述している。資料「非難するウクライナ国民」、「ロシア軍による攻撃を受けた市街地」を掲載し、ロシアによるウクライナ侵攻は、国際法に違反した侵略行為と考えられていることが記述されている。 「日本文教出版」では、ロシアのウクライナ侵攻の影響で、安全保障環境も激変し、防衛政策の変化が生じたと記述している。「国際社会と持続可能性」において、資料「ウクライナに侵攻したロシアの戦車」を掲載している。また、「ロシアによるウクライナ侵攻」のコラムを設け、経緯について説明している。さらに、世界の経済やエネルギー供給にも影響をおよぼしていることを本文で記述している。コラム「日本の難民支援」において、資料「ウクライナ難民」も掲載している。 「自由社」では、2022年2月、ロシア・ウクライナ戦争が始まったことを記述している。 「育鵬社」では、第5章「私たちと国際社会の課題」で、資料「ロシア軍の攻撃で廃墟と化したウクライナ東部マリウポリの市街地」を掲載し、たくさんのウクライナ市民が犠牲になっていると記述している。「領土・領海をめぐる問題」において、ロシアがウクライナ東部に侵攻し、戦争状態が続いていることも記述している。また、資料「第二次世界大戦後のおもな地域紛争」において、ロシアのウクライナ侵攻を掲載している。「戦後の日本と世界の主な出来事」においては、「2022 ロシアのウクライナ侵攻」を掲載している。
会長	続いて、地図について説明を求める。
部長	(部長説明)

委員	【質疑応答】 本地区の生徒の実態を考えると、地図では、どのような工夫がされているものがふさわしいか。
部長	本教科における本地区の生徒の実態として、よさとしては地図帳を用いて、世界の国や都市・地名、日本のさまざまな地名などを探す活動を好む生徒が多く、基礎的・基本的な学習内容の定着率は高い傾向にある。また、関係資料を読み取って行う作業的学習にも意欲的に取り組む様子が見られる。 しかし、一般地図やグラフ、写真等のさまざまな資料からの情報を教科書の内容と関連付けて、多面的・多角的に考察したり、自分の言葉でまとめ、表現したりすることが苦手な生徒が多い。 そこで、グラフや写真等の手がかりとなる資料が豊富に掲載され、それらを選択・活用して、教科書の内容と関連付けながら考えられる工夫がより多く見られる地図帳がふさわしいと考える。
委員	本地区の実態を考慮した場合、各発行者にどんな特色が見られるか。
部長	本地区の願いや思い、生徒の実態から各発行者の特色を見たとき、「東京書籍」では、地図や写真、グラフなどが効果的に提示され、関連資料が分るような「ジャンプ」や、「歴」「公」などのマークを設定することで、地図帳の他のページや歴史的分野・公民的分野との関連が分かるようにし、使いやすく情報を読み取りやすくするような工夫が見られる。また、「Bee's eye」を設けて生徒の好奇心を高めるための問いが設定され、地域ごとのさまざまな情報を多面的・多角的に考え、表現する力を身に付けるための工夫が見られる。 「帝国書院」では、主要都市の詳細な地図の大判化により見やすくし、各地の資料図に歴史的分野や公民的分野でも活用できるようなイラスト、絵を取り入れることで、使いやすく、情報を読み取りやすくするような工夫が見られる。また、自然・産業・くらしを紹介する地域のページでは、写真やイラスト、絵等を豊富に活用することで、生徒が興味・関心をもって多面的・多角的に学習に取り組めるような工夫が見られる。さらに、南極の地名に高岡出身の医師、高木兼寛を称えた高木岬を掲載し、宮崎平野だけを掲載したコーナーも見られる。 (部長退席)
会長	【協議】 それでは協議に入る。
会長	意見がないようなので、投票に入る。 (投票)

事務局長 会長	「地理的分野」の投票結果 東 書 2 票 教 出 0 票 帝 国 0 票 日 文 6 票
	「歴史的分野」の投票結果 東 書 2 票 教 出 0 票 帝 国 0 票 山 川 0 票 日 文 6 票 自由社 0 票 育鵬社 0 票 令 書 0 票 「公民的分野」の投票結果 東 書 2 票 教 出 0 票 帝 国 0 票 日 文 6 票 自由社 0 票 育鵬社 0 票 「地図」の投票結果 東 書 2 票 帝 国 6 票 投票の結果、地理的分野、歴史的分野、公民的分野については、「日本文教出版」が採択された。 地図については、「帝国書院」が採択された。

発言者	発言内容
会長	部長に説明を求める。
部長	(部長説明)
委員	【質疑応答】 本地区の生徒の実態を考えると、数学科では、どのような工夫がされている教科書がふさわしいか。
部長	本教科における本地区の生徒の実態として、よさとしては、基礎的・基本的な計算などについては比較的定着しており、意欲的に学習に取り組む姿が見られ、数学の力を伸ばしたいと考えている生徒が多く見られる。 一方、数学的な見方や考え方を生かして問題解決したり、自分の考えを数学的に表現したりすることについては課題が見られる。 本地区の実態を踏まえると、問題解決するための数学的活動や数学的に思考・表現できる工夫がより多く見られる教科書がふさわしいと考える。
委員	本地区の実態を考慮した場合、各発行者でどんな特色が見られたか。
部長	本地区の地域の特色や生徒の実態から各発行者の特色を見たとき、「東京書籍」では、「深い学びを振り返ろう」で、実社会とのかかわりを取り上げ、数学を活用して問題を解決する有用性を実感できるように工夫されている。 「大日本図書」では、「もっと数学の世界へ」で数学の実社会における活用を取り上げ、数学的に思考し伝えることができるように工夫されている。 「学校図書」では、「さらなる数学へ」で、表現する力を伸ばしたり、興味・関心に応じて主体的に取り組めたりできるよう工夫されている。 「教育出版」では、「学んだことを活用しよう」で、表現する力を伸ばし、興味・関心や習熟度に応じて、主体的に取り組むことができるように工夫されている。 「啓林館」では、数学を活用する考え方を示した「利用場面」と「ステップ」の提示により、数学的に表現し、問題解決する力を育むことができるよう工夫されている。 「数研出版」では、「数学旅行」による既習事項を深める題材の位置付けにより、事象を数学的に捉え、表現し、学びを深めることができるように工夫されている。 「日本文教図書」では、「数学マイトライ」において、論理的に思考、表現し、数学を活用して身の回りの問題を解決する力を高めることができるよう工夫されている。
委員	生徒に数学を学ぶ意義や有用性を実感させるために、どのような工夫をしているか。

部長	「数学を学ぶ意義」は、数学に関する問題を発見し、それを数学的に解決することを経験して、日常生活の問題を解決し、人生をより豊かに生きることができるようになることである。 「有用性」は、数学的に考えること、数学的に表現し処理すること、数学の実用性など数学が実生活で役立つものである、また、必要だと実感することである。 各者とも、数学が私たちの生活に役立っていることや数学の歴史等について紹介するページを設定したり、日常生活と結びついた題材をその単元の学習を通して解決していくようにしたりして、数学を学ぶ意義や有用性を実感させるような工夫をしている。																
委員	生徒が主体的・対話的に学びを進めていくため、どのような工夫をしているか。																
部長	各者とも、各章の導入で、身近な日常事象や社会と結びついた題材を設定し、「なぜだろう」「どうしてだろう」という生徒の課題意識を高める工夫をしている。また、その問いを解決していく過程で大切にしたい見方・考え方を、キャラクターの吹き出しやマークを用いて示して見通しをもたせたり、キャラクター同士の対話を例示したりして、主体的・対話的に学びを進めていくことができるように工夫している。																
部長	(部長退席)																
会長	【協議】 それでは協議に入る。																
会長	意見がないようなので、投票に入る。 (投票)																
事務局長	投票の結果 <table><tr><td>東 書</td><td>0 票</td><td>大日本</td><td>0 票</td><td>学 図</td><td>0 票</td><td>教 出</td><td>0 票</td></tr><tr><td>啓林館</td><td>7 票</td><td>数 研</td><td>1 票</td><td>日 文</td><td>0 票</td><td></td><td></td></tr></table>	東 書	0 票	大日本	0 票	学 図	0 票	教 出	0 票	啓林館	7 票	数 研	1 票	日 文	0 票		
東 書	0 票	大日本	0 票	学 図	0 票	教 出	0 票										
啓林館	7 票	数 研	1 票	日 文	0 票												
会長	投票の結果、数学については、「啓林館」が採択された。																

発言者	発言内容
副会長	部長に説明を求める。
部長	(部長説明)
委員	【質疑応答】 本地区の生徒の実態を考えると、理科では、どのような工夫がされている教科書がふさわしいか。
部長	理科における本地区の生徒の実態については、よさとして、好きな実験や観察に意欲的に取り組み、友だちと協力したり、教え合ったりしながら、科学的に探究しようとする生徒が多く見られることである。 しかし、課題として得られた結果を既習事項と関連付けて「根拠をもって説明する」ことを苦手としている生徒が多く、また、自然体験の不足から日常生活における自然現象への興味・関心が低下していることが挙げられる。 このような実態を踏まえると、理科では、主体的・対話的な学びを通して、理科の目指す資質・能力を確実に身に付けさせる工夫がされ、生徒にとって身近な自然現象が豊富に取り扱われ、実生活との関連性を感じさせる教科書がふさわしいと考える。
委員	本地区の実態を考慮した場合、各発行者でどんな特色が見られたか。
部長	本地区の地域の願いや思い、生徒の実態から、「主体的・対話的な学びを展開させる工夫」と「生徒にとって身近な地域素材や実生活との関連する資料の取扱い」という2つの観点で見ると、各発行者の特色は次のとおりであった。 「東京書籍」では、導入で生徒にとって身近な題材を設定し、生徒が主体的に学習に取り組めるようにしている。また、単元末コラムや本文内コラムで、日常生活や社会と学習内容との関連が見える工夫がされている。1～3年生までで、宮崎県に関する資料が1つ、実生活に関連する資料は12点であった。 「大日本図書」では、単元末に探究の場面を明確にすることで、主体的な学習を促している。日常生活と学習との関連を紹介した資料を多く掲載している。1年生から3年生までで、宮崎県に関する資料は2つ、実生活に関連する資料は22点であった。 「学校図書」では、生徒の話合いの吹き出しを提示し、思考を深めるように工夫している。また、学習内容と日常生活の関連を示すページで、私たちの生活が科学の知識と考え方で成り立つことを意識しやすい工夫がされている。1年から3年生までで、宮崎県に関する資料は1つ、実生活に関連する資料は5つであった。 「教育出版」では、キャラクターの会話と自分自身の考えを比較することで、課題を自分事として捉えられるようにしている。また、日常生活と関連した写真の掲載等、身近な自然を理解できる工夫が見られる。1年生から3年生までで、宮崎県に関する

	資料は3つ、実生活に関連する資料は11点であった。 「啓林館」では、各単元に1つ探究実験を設定し、探究シートで生徒の主体的な学習を支援している。また、身近な生活や日本の伝統文化等に関係する話題を紹介し、理科の有用性や郷土愛を感じられる工夫がされている。1年生から3年生までで、宮崎県に関する資料は3つ、実生活に関連する資料は11点であった。
委員	科学的に探究する資質・能力を育成するために、どのように工夫されているか。
部長	どの発行者も探究の進め方を巻頭で説明し、探究の過程を「課題」「仮説」「計画」「実験」「考察」などの短い言葉やマーク等で示し、本文と対応させるなど工夫されている。
委員	生徒が安全に実験や観察ができるように、どのように記述されているか。
部長	どの発行者も安全面に関して注意を促すマークを表示したり、安全に理科室で実験することを指導するページも設けたりしている。 (部長退席)
副会長	【協議】 それでは協議に入る。
委員	教科書の規格が少しずつ違うようだ。個性がある。
委員	昔の教科書に比べて、資料が多い。昔だったら生活の中で実体験をしていたことが、今の子ども達は「したことがない」ということが多い。想像しにくいことについて、写真が多いと、イメージしたり、理解したりしやすいのではないかな。
委員	理科の教科書については、インパクトというか、日常の疑問や気づきに対してダイレクトな写真が掲載されていると、学習意欲も喚起されるのではないかと感じる。
副会長	それでは投票に入る。 (投票)
事務局長	投票の結果 東 書 0票 大日本 1票 学 図 0票 教 出 0票 啓林館 6票
副会長	投票の結果、理科については、「啓林館」が採択された。

発言者	発言内容
副会長	音楽科「一般」の教科書について、部長に説明を求める。
部長	(部長説明)
委員	【質疑応答】 本地区の生徒の実態を考えると、音楽科では、どのような工夫がされている教科書がふさわしいか。
部長	音楽科における本地区の生徒の実態について、よさとしては、音楽を好む生徒が多く、特に合唱をはじめとする表現活動に意欲的に取り組むことが挙げられる。 一方、課題としては、演奏表現を深める工夫をしたり、音楽のよさを考えたりする場面における思考力、表現力が十分身に付いているとはいえない状況であるといったことが挙げられる。 このような実態を踏まえると、音楽科では、生涯にわたって音楽を楽しめるよう、学習効果や利便性を高めるために、ＩＣＴ機器を効果的に活用できる資料や、思考力、判断力、表現力等を育成するための手立ての工夫がより多く見られる教科書がふさわしいと考える。
委員	本地区の実態を考慮した場合、各発行者でどんな特色が見られたか。
部長	本地区の生徒の実態から、学習効果や利便性を高めるために、ＩＣＴ機器を効果的に活用できる資料や、思考力、判断力、表現力を育成するための手立ての工夫の2つの観点から各発行者の特色を見たとき、次のような特色が見られた。 「教育出版」では、「音楽のおくりもの中学音楽2・3上」の7ページのとおりに、学習効果や使用上の利便性を高めるために、全学年の目次の右下に、「まなびリンク」として二次元コードが掲載しており、範唱の視聴等ができるように工夫されている。また、本地区生徒の課題である「思考力・判断力・表現力等」を育成するために14ページのとおりに、各分野・領域の冒頭に「ACTIVE!」教材が配置されており、思いや意図を生かした表現の工夫や知覚と感受を関連付けて音楽を鑑賞する時の活動の進め方が具体的に示されている。 「教育芸術社」では、「中学生の音楽2・3上」の13ページのとおりに、学習効果や使用上の利便性を高めるために、全学年の必要なページに二次元コードが掲載されており、学習内容をサポートする動画や学習に関連する内容のウェブサイトの紹介が参照できるように工夫されている。また、本地区生徒の課題である「思考力・判断力・表現力等」を育成するために、16ページのとおりに、「学びのコンパス」のページを設け、思いや意図を生かして表現を工夫したり、知覚と感受を関連付けて鑑賞したり

	できるようなワークシートが掲載されている。
委員	日本の文化や地域との関わりに対する配慮は、どうなっているか。
部長	「教育出版」では、我が国の伝統音楽、郷土の民謡や芸能について、歌唱、器楽、創作、鑑賞のすべての学習を通して取り扱うことができるよう効果的な工夫が見られる。１年生の教科書５２ページでは、鑑賞と表現を関連づける学びにつなげ、５５ページでは、箏と同じ発音原理の楽器の鑑賞を通して理解を深め、自分の考えや見方、感じ取った曲想などをまとめて交流する「話し合おう」のコーナーを設定し、言語活動の充実や他者と協働して対話的な活動が展開できるような配慮がなされている。また、１年生の教科書３５ページで、宮崎県の「刈干切唄」、３６ページでは「ひえつき節」が取り上げられている。 「教育芸術社」では、我が国の民謡や長唄、義太夫節、謡を歌唱教材として取り上げ、生徒が興味・関心をもって我が国の伝統的な歌唱の学習に取り組めるように配慮されている。２・３年の教科書下、５４ページでは、地域の人たちと協力しながら祭りや芸能に携わる様子やどのような思いで取り組んでいるかについて写真やコメントで紹介し、生徒が自分たちの住む地域にも目を向け、愛着がもてるような配慮がなされている。また、１年生の教科書６２ページで、宮崎県の「刈干切唄」が取り上げられている。
委員	国歌「君が代」の取扱いは、どうなっているか。
部長	「教育出版」では、全学年で国歌として伴奏譜とともに掲載されている。「国家が歌われる場面」と「さざれ石」の写真と説明を載せ、歌詞の大意と歌詞に込められた願いが記されている。 「教育芸術社」では、全学年で、国歌として伴奏譜とともに巻末に掲載されている。「国歌・国旗と国際的儀礼」では、国際社会の平和と発展に寄与する態度を養えるような工夫が見られる。
副会長	次に音楽科「器楽合奏」の教科書について、部長に説明を求める。
部長	(部長説明)
委員	本地区の実態を考慮した場合、各発行者でどんな特色が見られたか。
部長	「教育出版」では、「音楽のおくりもの中学器楽」７ページの右下のとおり、学習効果や使用上の利便性を高めるために、模範の演奏を視聴できる「まなびリンク」が掲載されており、様々な演奏を聴くことで表現の工夫について理解を深められる構成となっている。また、本地区生徒の課題である「思考力・判断力・表現力等」を育成

	するために、１０ページの上の部分のとおり、各曲に学びのねらいが示されており、生徒の表現の創意工夫のポイントが具体的に示されている。 「教育芸術社」では、「中学生の器楽」の１１ページ右下の部分のとおり、学習効果や使用上の利便性を高めるために、二次元コードも掲載されており、様々な演奏を聴いたり、解説を読んだりすることで表現の工夫について理解を深められる構成となっている。本地区生徒の課題である「思考力・判断力・表現力等」を育成するために、１７ページのとおり、「学びのコンパス」で表現を創意工夫するためのポイントが示されており、生徒が主体的に表現活動に取り組めるような工夫が見られた。
委員	国際化への配慮は、どうなっているか。
部長	「教育出版」では、５６ページで、世界のさまざまな弾く楽器を取り上げており、自分とは違う価値観や世界観に出会うことができる写真や説明等の資料が掲載されている。 「教育芸術社」では、諸外国の音楽文化に対する理解を深められるように、１０４ページ、１０５ページの「楽器の図鑑」で、世界にはさまざまな楽器があるという紹介がなされている。
委員	表現活動の充実について、どのような配慮が見られるか。
部長	「教育出版」では、８２ページをはじめ、楽器の音色や響きを生かした音楽文化と豊かに関わり、音楽を愛好する心情を育むために、合奏の楽しさや喜びを味わえるよう、それぞれの楽器の特徴を生かしたアンサンブル曲の充実が見られる。 「教育芸術社」では、９９ページをはじめ、学校の音色や響きを生かした音楽文化と豊かに関わり、音楽を愛好する心情を育むために、日常生活の中で触れる機会の少ない和楽器を演奏する楽しさや喜びを味わえるよう、「楽器でM e l o d y」で生徒になじみのある楽曲の充実が見られる。
委員	一般と、器楽合奏の教科書は、同じ出版社同士で内容がリンクしているのか。同じ出版社を採択しなくても不都合はないか。
部長	一般と器楽がリンクしているということはない。取り扱う内容は別である。
委員	表現活動が本地区の生徒の課題であるということだったが、深みのある表現活動の充実のための工夫は見られたか。
部長	「教育出版」では、１年生６０ページ、２・３年生の下、５２ページで扱われている「表現の仕方を調べてみよう」のページで、鑑賞の活動を通して、音楽の役割や情報について考えることができる構成になっている。また、比較しながら整理するため

	の書き込み欄を設けたり、「話し合おう」というコーナーを設定したりするなど、生徒が視点を明確にして学習することができるよう配慮されている。 「教育芸術社」では、１年生の４５・４９・５４・６５ページ、２・３年生の４２・６１・７１ページで扱われている「学びのコンパス」のページで、聴き取ったことと 感じ取ったことを、教科書の手順に沿ってワークシートに書き込み、意見交換しながら学習を進めることで、生徒が意欲をもって主体的に活動できるような配慮が見られる。 (部長退席) 【協議】
副会長	それでは協議に入る。
委員	中学生が奏でる楽器はアルトリコーダーの印象があるが、他の楽器は使わないのか。
委員	期間を区切って、外部講師を呼ぶなどして、琴と三味線の指導は行う。
事務局長	学習指導要領により、必ず和楽器の指導をすることになっている。宮崎市では、琴と三味線を５０台用意し、２週間ずつに区切って各学校に輸送している。
委員	クラシックギターを指導している学校もある。
委員	タブレットを使った音楽の授業は、小学校でも行われている。
委員	音楽の授業では、コンピュータよりも、実際の楽器を扱う方が重要なのではないか。
委員	その通りである。響きを直接感じる事が一番大切であると考える。
副会長	それでは投票に入る。 (投票)
事務局長	「音楽・一般」の投票結果 教 出 １票 教 芸 ６票 「音楽・器楽合奏」の投票結果 教 出 １票 教 芸 ６票
副会長	投票の結果、音楽については、一般、器楽合奏ともに「教育芸術社」が採択された。

第2回採択地区協議会 議事録

【美術】

令和6年7月9日(火)

発言者	発言内容
副会長	部長に説明を求める。
部長	(部長説明)
委員	【質疑応答】 本地区の生徒の実態を考えると、美術科では、どのような工夫がされている教科書がふさわしいか。
部長	本教科書における本地区の実態について、よさとしては、ものの見方が素直で、新しい表現やいろいろな素材・技法などに触れた際、興味をもって学習に取り組むなど、表現及び鑑賞の活動に対し、好奇心を抱いている生徒が多く見られることが挙げられる。 しかし、生活経験の不足からか、刃物などの道具の扱い方や技能が十分身に付いていないことや、鑑賞の機会が少ない傾向が見られる。 本地区の生徒の実態を踏まえると、刃物などの用具の扱いや技能、作品鑑賞の工夫がより多く見られる教科書がふさわしいと考える。
委員	本地区の実態を考慮した場合、各発行者でどんな特色が見られたか。
部長	「開隆堂」では、刃物などの用具の扱いや技能のページが2ページ、鑑賞に関する題材は合計で35、設定されています。また、生徒が主体的に学習したり、美術の学びを広げたりするなどの特色があります。 「光村図書」では、刃物などの用具の扱いや技能のページが2ページ、鑑賞に関する題材は合計で26、設定されています。また、発想が広がる別冊資料や、授業が見える紙面構成、見方が深まる新しい鑑賞などの特色があります。 「日本文教出版」では、刃物などの用具の扱いや技能のページが3ページ、鑑賞に関する題材が合計50、設定されています。また、授業の流れをつかみやすくし、生徒の主体的な学びを促したり、生活や社会につなげたりするなどの特色がある。
委員	伝統文化・地域文化への配慮は、なされているか。
部長	どの出版者においても、題材や資料において、全国各地の伝統工芸や伝統文化に関わる作品や事例などを掲載し、日本の伝統文化への理解が深まるように配慮されている。 「開隆堂」では、美術Ⅰの26から33ページ、「江戸の美術の面白さ」、44・45

	ページ「ずっと木といっしょに」といった題材がある。 「光村図書」では、美術 1 の 36 から 43 ページに「風神雷神」、美術 2・3 の 78・79 に「季節感のある暮らし」といった題材がある。 「日本文教出版」では、美術 1 の 24 から 29 ページに「屏風、美のしかけ」、美術 2・3 上の 32・33 ページに「日本の技と心を受け継いで」といった題材がある。
委員	知的財産権や肖像権への配慮は、なされているか。
部長	人権教育にも関連があるものと考えられる。それぞれの出版者において、巻末に、作品の著作権などの知的財産権や撮影における肖像権の注意が喚起されたり、解説の中で注意を促す文章とマークで示されたりしている。 「開隆堂」では、美術 1 の 57 ページに、「学びの資料 著作権を知ろう」、美術 2・3 には、109 ページに「学びの資料 美術の用語」という内容で記載されている。 「光村図書」では、美術 1、資料の 11 ページに、「端末を活用する」、美術 2・3 の 94 ページ、「学習を支える資料一覧」という内容で記載されている。 「日本文教出版」では、8 ページ「教科書の使い方」に、記載されている。
委員	「光村図書」だけが、「学習を支える資料」として別冊があるが、利便性としてはどうか。
部長	「開隆堂」、「日本文教出版」については別冊資料はないが、それぞれの教科書の後半に、学びの基礎につながる資料がある。利便性について、大きな違いはないものとする。 (部長退出)
副会長	【協議】 それでは協議に入る。
委員	先程、別の委員からあったが、別冊資料についてはどのように考えるか。
委員	教科書と見比べるときには便利だが、かさばったり、無くしたり、忘れたりすることもある。
委員	テクニックに関わるものを別冊にしておけば、制作に入った後も使いやすいと考えたのではないか。
委員	「開隆堂」の表紙は凝っている。インパクトがある。

委員	教科書を閲覧して、「美術館に行かなければならないんだな」と思った。
委員	地域によっては、生徒の日常の中に美術館があるところもある。
副会長	それでは投票に入る。 (投票)
事務局長	投票の結果 開隆堂 1票 光 村 0票 日 文 6票
副会長	投票の結果、美術科については、「日本文教出版」が採択された。

第2回採択地区協議会 議事録

【保健体育】

令和6年7月9日(火)

発言者	発言内容
事務局	会長が戻ったので、ここからは過半数は5票になる。午前中の議事は、引き続き副会長が行う。
副会長	部長に説明を求める。
部長	(部長説明)
委員	【質疑応答】 本地区の生徒の実態を考えると、保健体育科では、どのような工夫がされている教科書がふさわしいか。
部長	保健体育における本地区の生徒の実態として、よさとしては、部活動やスポーツクラブ等の加入率も高く、運動を週3回以上実施する生徒も多いことや、朝食の欠食や睡眠不足など生活習慣の課題と健康を関連付けて指導する学校が多く、生徒がその重要性を認識し、行動に移している傾向が見られることである。 しかし、その一方で運動が好きで積極的に運動を行っている生徒の割合は高いものの、運動を苦手と感じている生徒や運動をしていない生徒の二極化の傾向が見られる。 本地区の生徒の実態を踏まえると、「健康教育」「体育理論」については重要と考え、生徒が課題意識をもち、主体的な学びにつながる学習の流れを工夫し、分かりやすく配置してある教科書がふさわしいと考える。
委員	本地区の実態を考慮した場合、各発行者でどんな特色が見られたか。
部長	本地区の地域の願いや思い、生徒の実態から各発行者の特色を見たとき、「東京書籍」は、「章末資料」で、実生活につながる内容が組み込まれているとともに、「巻末スキルブック」で「命や健康を守る」ためのスキルが身につく資料や、学習への意欲が高まる資料が多く掲載してあるという特色が見られた。 「大日本図書」は、「章末資料」「学びを活かそう」で、実生活につながる内容が組み込まれているとともに、知識を深める活動や資料から考察・推察する活動など幅広い授業を展開することができるといえるような特色が見られた。 「大修館書店」は、「特集資料」「章のまとめ」で、実生活につながる内容が組み込まれているとともに、本文と資料が明確に区別されるなど、使いやすく分かりやすい特色が見られた。 「学研」は、「探求しようよ!」「章のまとめ」で実生活につながる内容が組み込まれているとともに、大きな判型の資料を掲載することで認識しやすく、本文の内容から資料を読み取りやすいなど、学びやすさを高めるなどの特色が見られた。

委員	感染症に関する指導の内容は、どのように盛り込まれているか。
部長	各者ともに、感染症は病原体が主な要因となって発生することや感染症の多くは発生源をなくすこと、感染経路を遮断すること、主体の抵抗力を高めることにより予防できることが指導内容として示されている。 「東京書籍」では、１４２ページから取り上げられている。特徴として、病原体による感染経路の違いなど、感染症の基本的な知識、予防から対策、回復までを本文や資料で分かりやすく解説し工夫がなされている。「章末資料」の感染症の歴史では感染症との闘いの歴史から、現在や未来の感染症への向き合い方を考えることができるような工夫がなされている。 「大日本図書」では、１３２ページから取り上げられている。特徴として、感染症は何が原因でどのようにしてかかるのか、感染症に関係する条件や体を守る仕組みをわかりやすく図解で示し理解できるよう工夫がなされている。 「大修館書店」では、１４０ページから取り上げられている。特徴として、感染症の原因や主な４つの感染経路を図解で分かりやすく示している。また、飛沫と飛沫核、免疫の仕組みをイラスト資料や対話形式の資料にして分かりやすい工夫がなされている。 「学研」では、１５２ページから取り上げられている。特徴として、感染症とはどのような病気か、その予防と拡大の防止や回復までを本文や資料で分かりやすく解説し、理解できるように工夫がなされている。また、本文中で人権上の問題にも触れている。
委員	防災に関わる学習は、どのようなものが盛り込まれているか。
部長	各者とも自然災害を具体例として取り上げて掲載することにより、日頃の備えとともに災害から身を守るためには、正確な情報を得ることが重要であることを学べるようになっている。 「東京書籍」では、７６ページから取り上げられている。特徴として、防災では自助・共助・公助の考え方が大切であることに触れ、自然災害を経験した中学生の作文を掲載することにより、災害を身近に感じ、いざというときに何をすべきかを理解できるように工夫されている。 「大日本図書」では、９８ページから取り上げられている。特徴として、自然災害の特徴を理解し、災害から身を守る方法として、体験談を踏まえながら、どのような備えが必要で、どのような行動を取ればよいかを考えられるように配慮されている。 「大修館書店」では、１１０ページから取り上げられている。特徴として、自然災害から命を守るための行動のしかたや災害時の情報の活用方法などを取り上げ、防災や被災後の健康管理についても学習できるように配慮されている。 「学研」では、１１６ページから取り上げられている。特徴として、自然災害や二次災害における安全の確保の内容を充実させ、過去の大きな災害から学ぶ教訓の形で展開されている。災害から身を守るために正確な情報を得ることの重要性について取り上げている。

	(部長退席)
副会長	【協議】 それでは協議に入る。
委員	同じ題材でも、表す内容、表し方が違うことに気付いた。学ぶ内容が多く、時間が取れるのかと思った。
委員	保健体育科においても、防災について学ぶ機会がある。
副会長	それでは投票に入る。 (投票)
事務局長	投票の結果 東 書 0 票 大日本 0 票 大修館 2 票 学 研 6 票
副会長	投票の結果、保健体育科については、「学研」が採択された。

発言者	発言内容
副会長	部長に説明を求める。
部長	(部長説明)
委員	【質疑応答】 本地区の生徒の実態を考えると、技術分野では、どのような工夫がされている教科書がふさわしいか。
部長	技術分野における本地区の生徒の実態としては、よさとして、「ものづくりには高い関心を示し、作品作りに意欲的に取り組む。」ということが挙げられる。 しかし、課題としては、「加工技術等の習得につながる体験や経験が不足していること」や「生活や社会における事象を技術との関わりの視点で考えることや実践すること」が挙げられる。 このような実態を踏まえると、知識や技能、判断力不足を補い、失敗やつまずきを自力で解決するために、見通しのもてる写真や図、解説の提示の工夫があり、学習を单元ごとにまとめることができ、働くプロの仕事内容や働く目的など、キャリア教育の観点も盛り込まれた教科書がふさわしいと考えられる。
委員	本地区の実態を考慮した場合、各発行者でどんな特色が見られたか。
部長	本地区の地域の特色や生徒の実態から各発行者の特色を見たとき、「東京書籍」では、「TECH Lab」や「技術のとびら」のコーナーで单元での製作技能や学習の資料がまとめられ、振り返りに役立てたり、実習に必要な製作技能の動画コンテンツを充実させたりするなどの工夫が見られる。 「教育図書」では、実習に必要な技能を各自で振り返ることができるよう別冊「スキルアシスト」を作成したり、各单元の問題解決学習導入ではイラストを活用して学習の流れをつかみやすくしたりするなどの工夫が見られる。 「開隆堂」では、各分野終末の「学習のまとめ」では学習内容の振り返りに役立てたり、「インタビュー」では各分野で働くプロの仕事内容や働く目的など、キャリア教育の観点も盛り込まれたりするなどの工夫が見られる。
委員	情報教育との関連は、どこに記載されているか。
部長	情報教育は、技術の分野で非常に注目される場所である。どの教科書においても情報モラルについて記載されている。 「東京書籍」では、208ページなどに、「情報モラル」マークで情報教育や情報

	モラルに関する内容と関連が記載されている。 「教育図書」では、１８６ページなどに、「情報モラル」マークで情報教育や情報モラルに関する内容が記載されている。 「開隆堂」では、２３１ページなどに、二次元コードで情報教育や情報モラルとの関連事項が記載されている。
委員	キャリア教育との関連について、将来の生き方や職業選択に関して、それぞれの教科書に記載があるようだが、それぞれどのような特徴があるか。
部長	キャリア教育についても、情報教育と同様に、注目されている。 「東京書籍」では、８６ページ、各編の最後に「すごいぞ！技術」の中で、未来を支える技術が技術者の姿とともに記載されている。 「教育図書」では、６１ページ「先輩に聞いてみよう」の中で、技術に関する大会に参加する生徒のようすが記載されている。 「開隆堂」では、１０４ページ「Interview」の中で、働く人々へのインタビューが掲載されている。
副会長	(部長退席) 【協議】 それでは協議に入る。
委員	情報教育との関連で、部長から二次元コードについての説明があり、豊富な資料があることが分かったが、生成ＡＩについては、まだ大きくは取り上げられていないようだ。
委員	文部科学省から生成ＡＩに関するガイドラインが出されたが、暫定的なものであった。今後、教科書も変わってくる可能性がある。
副会長	それでは投票に入る。 (投票)
事務局長	投票の結果 東 書 ０ 票 教 図 ２ 票 開隆堂 ５ 票
副会長	投票の結果、技術分野については、「開隆堂」が採択された。

発言者	発言内容
会長	部長に説明を求める。
部長	(部長説明)
委員	【質疑応答】 本地区の生徒の実態を考えると、家庭分野では、どのような工夫がされている教科書がふさわしいか。
部長	本教科における本地区の生徒の実態として、よさとしてはものづくりへの関心が高く、製作・実習や体験活動に意欲的に取り組む生徒が多いこと、本教科の学習内容が生活に役立つと認識している生徒が多いことである。 しかし、実習における技能面の個人差や自分の生活を振り返り、自分で課題を見付け工夫や創造しようとする意識や実践力に課題が見られる。また、地域の願いや思いという部分では、特に「防災」及び「消費生活」が課題であるとともに身に付けさせたい内容である。 本地区の生徒の実態を踏まえると、基礎的・基本的技能の習得について実践的に進められる工夫がより多く見られる教科書がふさわしいと考える。また、生徒を取り巻く日常的課題を意識するための工夫と「防災」「消費生活」との関連がより多く見られる教科書がふさわしいと考える。
委員	本地区の実態を考慮した場合、各発行者でどんな特色が見られたか。
部長	本地区の生徒の実態や地域の願いや思いから各発行者の特色を見たとき、「東京書籍」では、作品の製作手順を写真で分かりやすく提示したり、二次元コードを活用した動画を活用したりする工夫や、生徒の防災への意識を高めるために、巻末資料として「災害に備える」を付けるという特色が見られた。 「教育図書」では、二次元コードを活用して授業での学びを家庭実践につなぐ意欲をもたせるような資料の工夫や、生徒の防災と消費生活への意識を高めるために、「防災マーク」や「消費者マーク」を取り入れるという特色が見られた。 「開隆堂」では、写真やイラストで分かりやすい工夫や二次元コードを活用して各自の課題に応じて取捨選択できる工夫や、生徒の防災への意識を高めるために、「わたしたちの防災」として詳細な資料を付けるという特色が見られた。
委員	消費者教育に関する内容は、どのようになっているか。
部長	新成人が18歳となり、生徒にとって消費者教育は非常に重要な内容だと考える。

	「東京書籍」では、「意思決定のプロセス」を食生活、衣生活、消費生活の学習で明確に示し、繰り返し学習することで意思決定能力を身に付けることができるように工夫されている。また、悪徳商法や消費者トラブルの事例をイラストや漫画で取り上げ、低年齢化する消費者トラブルの防止に役立つよう工夫されている。さらに、消費生活に関わる内容には「消費者」マークを付けて、生徒の意識を高めるように工夫されている。 「教育図書」では、中学生も「消費者市民社会」をつくる一員であることへの気付きをもたらす記述と資料が充実し、消費者としての自覚を促すように配慮されている。また、若者の消費者トラブルの例を統計資料や具体例とともに掲載し、生徒が身近な事柄とし捉えられるように配慮されている。さらに、消費生活に関わる内容には「消費者マーク」を示し、生徒が消費者としての意識をもてるように配慮されている。 「開隆堂」は、持続可能な社会に向けた消費行動、環境への影響を考え、消費生活に必要な情報の収集・整理ができる構成となっている。また、消費生活の仕組みや売買契約、消費者の権利と責任について課題をもって活動できるよう工夫されている。さらに、消費者教育として基本的に共通することを丁寧に扱い、消費者としての実践的態度が身に付けられるよう工夫されている。
委員	防災教育に関する内容には、どのような工夫があるか。
部長	「東京書籍」は、住生活の内容で防災・減災教育を充実させるとともに、防災・減災に関する内容を随所に取り上げ、「防災」マークを付けて、生徒の意識を高めるように工夫されている。また、巻末に「災害に備える」が設けられ、家庭分野ならではの防災・減災について学習し、実生活で活用できるように工夫されている。 「教育図書」では、災害時の衣服の備えや災害時の調理方法、災害に備えた住まい方など、衣食住の生活全てにおいて災害時の対策を扱っている。また、災害に備えるために注意することを扱っている箇所には「防災」マークを掲載し、生徒が防災への意識を高めることができるよう配慮されている。 「開隆堂」は、防災について、本文での記述に加えて、本文以外にも特設ページを設け、日常的な備えの重要性などについて記述がされている。また、防災関連の実習・製作例なども取り上げている。さらに、防災に関する事項には「防災」マークを付けて、生徒への意識付けを図っている。 (部長退席)
会長	【協議】 それでは協議に入る。
委員	生きていくうえで、とても大切な教科、分野だと思った。

会長	それでは投票に入る。 (投票)
事務局長	投票の結果 東 書 0 票 教 図 2 票 開隆堂 6 票
会長	投票の結果、家庭分野については、「開隆堂」が採択された。

発言者	発言内容
副会長	部長に説明を求める。
部長	(部長説明)
委員	【質疑応答】 本地区の生徒の実態を考えると、外国語科では、どのような工夫がされている教科書がふさわしいか。
部長	外国語科における本地区の生徒の実態として、よさとしては、素直に学び、新文型等を習得しようとする意欲は高いものがある。また、単語や文型などの基礎的な学習内容についても、概ね、定着率は高い傾向にある。さらに、読むことやALTとのコミュニケーション活動等には積極的な取組が見られる。 しかし、自分の考えや思いを話したり、書いたりする表現力には大きな個人差があることや、やや長めのまとまった英文を読む力が十分に身に付いていないという課題が見られる。 本地区の生徒の実態を踏まえると、話したり書いたりする言語活動が系統的に設定されていたり、まとまりのある英文を読む活動が計画的に設定されていたりする工夫がより多く見られる教科書がふさわしいと考える。
委員	本地区の実態を考慮した場合、各発行者でどんな特色が見られたか。
部長	本地区の地域の特色や生徒の実態から各発行者の特色を見たとき、「東京書籍」では、單元ごとにUnit Activityが設定され、学習した内容をもとに無理なく自分の意見や考えを話したり、書いたりすることができる工夫が見られる。 「開隆堂」では、各單元始めの「Scenes for Basic Dialogs」や、複数単元のまとめにある「Our Project」において、段階的に話したり書いたりする表現力を高めることができる工夫が見られる。 「三省堂」では、世界的に有名な物語やオンラインで楽しめる内容、日本文化の狂言を読み物教材にすることで、生徒が学習意欲をもって長文読解に取り組めるような工夫が見られる。 「教育出版」では、Activities Plusにある具体的な質疑応答例や、Tipsシリーズの情報を聞き取るコツや会話を広げるコツ等により、表現力を身に付け、コミュニケーション活動に取り組める工夫が見られる。 「光村図書」では、全てのUnitのStory Retellingが帯教材として設定されており、簡単な語句や文を使っの即興的な表現力の向上につながる工夫が見られる。 「啓林館」では、Project 1～3を通して、まとまった英文を読んで情報を正しく

	つかみ、グループで発表やプレゼンテーション、そしてディスカッションするという段階を経て、表現力を養う工夫が見られる。
委員	特別支援教育の観点から、どのような使いやすさや工夫が見られるか。
部長	各発行者とも、読みやすく、書きやすいフォントを使用し、紙面上のデザインや配置を統一したり、カラーユニバーサルデザインへの配慮をしたりするなど、特別支援教育の観点からの配慮がなされている。
委員	実態として、長文の読解に課題があるということであったが、適切な発行者があったか。
部長	全ての発行者の特色について調査研究してきたが、それぞれ実態に合った構成になっている。
委員	人権教育への取組は、どうなっているか。
部長	外国の文化についての理解を促すことも重要だと考える。各発行者とも、外国の文化について、豊富に取り扱っている。自国と他国の共通点や相違点に気付かせ、互いに尊重しようとする態度を育成するための工夫が見られる。
	(部長退席)
副会長	【協議】 それでは協議に入る。
委員	身近なこととして外国語を学ぶのか、遠い外国のこととして学ぶのかによって、教科書は違ってくるのではないか。
委員	最近はインバウンドによって、市内で外国の方と接する機会が多い。
委員	英語を話す必然性がある仕事も増えており、英語を学ぶ必然性に迫られている時代が来ているのではないかと感じる。
委員	県内の、外国からの観光客が多いところは、中学生が英語で観光案内をしている学校もあるようである。
委員	そのような例は、生きた英語を学ぶことができる機会だと感じる。日本人は、英語で話す際、いざというときに最初の一言が出ないケースが多いと聞く。基礎となる単

	語やフレーズがたくさん学べる教科書がよいのではないか。
委員	小学校に外国語科が入ってきて、中学校の外国語がより難しくなってきたと感じる。小学校での英語の好き嫌いが、中学校に影響している。
委員	宮崎市内の就学前の多くの幼児が、英語を習っていると聞く。ますます個人差が大きくなるのではないかと考える。
副会長	それでは投票に入る。 (投票) 投票の結果 東 書 7 票 開隆堂 0 票 三省堂 1 票 教 出 1 票 光 村 0 票 啓林館 0 票 投票の結果、外国語については、「東京書籍」が採択された。

発言者	発言内容
会長	部長に説明を求める。
部長	(部長説明)
委員	【質疑応答】 本地区の生徒の実態を考えると、道徳科では、どのような工夫がされている教科書がふさわしいか。
部長	本教科における本地区の生徒の実態として、よさとしては、決まりを守る、挨拶や返事ができるなど、基本的な望ましい生活習慣が身に付いていることがある。また、与えられた役割を最後まで果たそうと努力する生徒が多いことや、ボランティア活動に積極的に参加する生徒が多いことも挙げられる。 一方、課題としては、自分の生き方や考え方について周囲と話し合う際、自分の思いや考えを表現することへの抵抗感から、他の価値観と触れ合う中で考えを深められないということや、他者の考えを理解することができず、相手の気持ちを考えずに発言したりするなど、時と場に応じた言動ができないなどの課題も見受けられる。 このような実態をふまえると、資料を読み取るだけでなく、生徒が主体的に考え、対話から議論が促され、生き方や考え方について議論し、考えを深められるような教科書がふさわしいと考える。
委員	本地区の実態を考慮した場合、各発行者でどんな特色が見られたか。
部長	本地区の特性や生徒の実態から、「主体的に考え、対話から議論が促されるような工夫」という観点で、各発行者の特色を見たとき、「東京書籍」は、主体的に考え、議論する学習を促すために、「考えよう」「見つめよう」で個人思考をさせ、「ぐっと深める」という補助発問で更に深く考えさせるとともに、「探究の対話」では、話合いにより考えを深めさせる工夫がなされている。また、生き方や考え方について議論し、考えを深められるようにするために、コラム「Plus」を通して、役割演技や話し合いながら考える活動など、対話を通して自分の心を見つめ、広げるなどの工夫がなされている。 「教育出版」は、主体的に考え、議論する学習を促すため、絵本、写真、漫画等も取り入れながら、導入の問いで生徒の日常と教材をつなぎ、「学びの道しるべ」の3つの問いで生徒の考えを引き出し、段階的に深めさせようとする工夫がなされている。また、生き方や考え方について議論し考えを深められるようにするために、「どうすればよいか」という問題や葛藤に関する教材を通して、話合いをもとに自分の心を見つめ、広げるなどの工夫がなされている。

	「光村図書」は、主体的に考え、議論する学習を促すため、「考えよう」では2つの問いで学びのテーマに迫り、「チャレンジ 問いを立てよう」では、生徒自らが問いを立て、立てた問いの答えを探究することができるようにする工夫がなされている。また、生き方や考え方について議論し考えを深められるようにするために「やってみよう 今日の『てつがく』」を設け、答えのない問いについて、対話を通して自分の心を見つめ、広げるなどの工夫がなされている。 「日本文教出版」は、主体的に考え、議論する学習を促すため、生き方や考え方について議論し考えを深められるようにするために「考えてみよう」では、ねらいに迫るための発問例を示しながら、対話を通して自分の心を見つめ、広げるなどの工夫がなされている。また、「考えてみよう」「自分に+1」では発問を1つに精選し、ねらいを焦点化して考えを深めさせ、「あすへのメッセージ」では生き方について自分を見つめ直させる工夫がなされている。 「学研」は、主体的に考え、議論する学習を促すため、生き方や考え方について議論し考えを深められるようにするために特設ページ「クローズアップ」を通して、教材を軸に多面的・多角的に考える活動など、対話を通して自分の心を見つめ、広げるなどの工夫がなされている。また、「深めよう」を必要に応じて後半に配置し、考えを深める4つのステップ（見つけよう、考えよう、話し合おう、生き方につなげよう）に沿った授業の流れを具体的に提示する工夫がなされている。 「あかつき教育図書」は、主体的に考え、議論する学習を促すため、教材に内容項目を記載しないことで、生徒が先入観なく自由な発想ができるようにし、最後に「自分との対話」で自分自身に問い直す発問を設けている工夫がなされている。また、生き方や考え方について議論し考えを深められるようにするために各学年3つの教材に「マイ・プラス」を設置し、話合いや役割演技を取り入れて考える活動など、対話を通して自分の心を見つめ、広げるなどの工夫がなされている。 「日本教科書」は、主体的に考え、議論する学習を促すため、1学年では「自由」、2学年では「幸福」、3学年では「愛」という大きなテーマを設定し、各教材では、「考えよう」「深めよう」の発問で、自分の考えを深めさせようとする工夫がなされている。また、生き方や考え方について議論し、考えを深められるようにするために「よりよく生きようとする事」を模索する題材をもとに、「考え、議論し、探究する」活動を通して自分の心を見つめ、広げるなどの工夫がなされている。
委員	いじめを扱った教材はどれぐらいあるか。
部長	どの出版者についても、いじめを題材とした教材を多数扱っている。 「東京書籍」は、各学年3つずつの、計9つの教材を扱っている。 「教育出版」は、各学年2つずつの、計6つの教材を扱っている。 「光村図書」は、各学年3つずつの、計9つの教材を扱っている。 「日本文教出版」は、1年生が6つ、2年生が5つ、3年生で4つの、計15の教材を扱っている。 「学研」は、1年生、2年生が7つ、3年生で6つの、計20の教材を扱っている。

	「あかつき教育図書」は、１年生で３つ、２年生、３年生で２つずつの、計７つの教材を扱っている。 「日本教科書」は、１年生、２年生が４つずつ、３年生で３つの、計１１の教材を扱っている。
委員	宮崎県は、道徳が教科になる前から郷土の出来事や偉人に関わる資料を扱い、郷土についての学びを大切にしている。宮崎県に関わる教材はどれくらい入っているか。
部長	「宮崎県に関わった」という教材はないが、ゆかりの人物を扱った教材はある。 「日本文教出版」は、井上康生、高木兼寛を扱っている。 「学研」は、上杉鷹山を扱っている。 「日本教科書」は、井上康生を扱っている。 ３つの出版者以外では、扱っていない。 (部長退席)
会長	【協議】 それでは協議に入る。
委員	道徳が教科化されて、学校現場ではどのような変化を感じているのだろうか。
委員	「考え、議論する道徳」への転換が図られている。
委員	資料を扱う際、物語の主人公の読み取りではなく、生徒が当事者意識をもち、自分自身の考えを表現するように求められている。扱う題材が変わってきている。
委員	大きな変化を感じるのは、教材として扱う人物、偉人である。以前はもう既に亡くなった方が多かったが、近年は存命の、若い人物を扱うようになってきている。若い世代に身近で、リスペクトできるような人物を、積極的に掲載するようになったと感じる。
会長	それでは投票に入る。 (投票)
事務局長	投票の結果 東 書 ０票 教 出 ０票 光 村 ０票 日 文 ８票 学 研 ０票 あか図 ０票 日 科 ０票
会長	投票の結果、道徳科については、日本文教出版が採択された。